



# とよしん

## 海外貿易投資ニュース



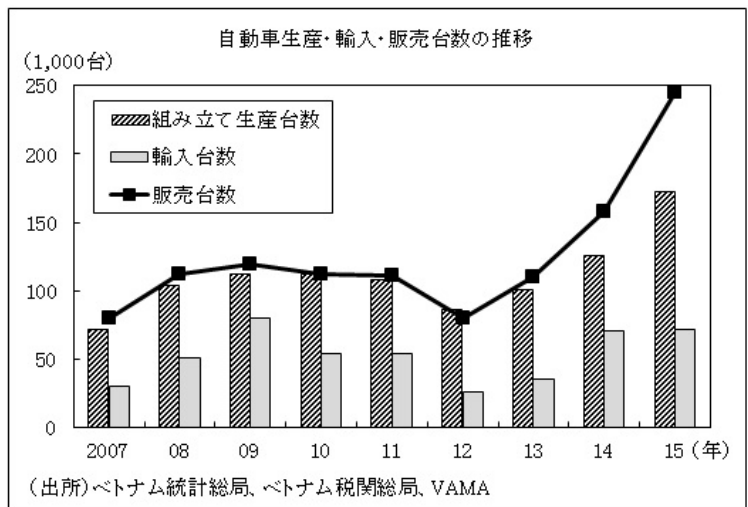
第63号  
発行日: 2016.8.15

### 拡大が期待される自動車関連市場 - ホーチミン市で自動車部品・アクセサリ展示会 - (ベトナム)

自動車部品や自動車アクセサリなどの総合展示会「サイゴン・インターナショナル・オートテック & アクセサリーズ・ショー (Saigon International Autotech & Accessories Show) 2016」が5月26～29日、ホーチミン市のサイゴン展示会議センターで開催された。同展示会は12回目で、出展企業は自動車部品、自動車アクセサリ、カーエレクトロニクス機器、自動車タイヤ、オイル・ガス製品などを展示した。同分野は、新車販売台数の増加を背景に今後の市場拡大が期待されている。

#### < 自動車の国内販売台数は急増 >

ベトナム自動車工業会(VAMA)によると、2015年のベトナムの国内自動車販売台数は24万4,914台で、前年比55.1%増と大幅に伸びている(図参照)。用途別の内訳は、乗用車が14万3,392台(42.8%増)、商用車(バス、トラック)が8万9,327台(73.8%増)、特別目的車が1万2,195台(2倍)となっている。自動車販売が好調だった主な要因としては、国内景気の回復、個人・民間企業の自動車ニーズの高まり、2014年4月から政府が強化した過積載の取り締まりによるトラックの需要増、などが挙げられる。自動車の販売台数は伸びているものの、ベトナム国内では自動車部品産業が育っておらず、部品の多くを国外から調達して組み立てている。また、約24万台という販売台数の規模は、インドネシアの約100万台、タイの約80万台と比較して小さく、アクセサリなど自動車関連の消費財市場も小さい。



#### < 12ヵ国から444社が出展 >

同展示会は、(1)自動車部品、(2)自動車アクセサリ、(3)カーエレクトロニクス機器、(4)自動車タイヤ、(5)オイル・ガス製品、(6)自動車ケア、修理品、(7)自動車管理、ITシステム、(8)その他関連分野、を対象とする。今回は12ヵ国から出展した444社が3万平方メートルの展示会場を埋め尽くした。展示物は各種パーツ、ボルト、ギア、カーエアコン、バッテリー、ワックス、オイル、シートカバー、タイヤ、洗浄機、洗車機、ドライレコーダーなど、多岐にわたっていた。国内での自動車販売台数の増加に伴い、自動車関連分野にも注目が高まっていることがうかがえた。



会場の様子(ジェトロ撮影)

#### < 積極姿勢目立つ中国企業 >

出展企業のうち、中国企業が283社、台湾企業が70社、韓国企業が24社出展しており、特に中国企業の積極的な姿勢が目立った。日系企業は2社が出展し、「カーケアやカークリーンなどのアフターマーケット分野の注目が高まっている」「中国製の商品に比べて価格は高いが、品質の良さと商品に付加価値をつければ市場拡大のチャンスはある」とのコメントが聞かれた。自動車の国内販売台数が伸びていることから、「一般消費者向けのカーケアショップを展開していきたい」といった来場者のコメントもあった。ベトナムでは、自動車部品店が集積するローカルマーケットはあるが、1つの店舗でさまざまな商品を取りそろえることができるカーケアショップはみられず、一般消費者のニーズが今後、高まることが予想される。

(出所:ジェトロ通商弘報2016年7月20日 6611a696065a1c0a 「拡大が期待される自動車関連市場 - ホーチミン市で自動車部品・アクセサリ展示会 - (ベトナム)」)

トヨタの「ヴィオス」がCARS補助金を取得（フィリピン）

トヨタ・モーター・フィリピン(TMP)に対して7月1日、正式に「包括的自動車産業振興戦略(CARS)」プログラムに基づく補助金交付が承認された。同社は小型セダン「ヴィオス」の新モデルでCARSの恩典を利用する。

<「ヴィオス」新モデルに32億ペソの投資を計画>

CARSは、フィリピン政府がフィリピンで新規に生産される四輪自動車3モデルを対象に、2016年から6年間で総額270億ペソ(約594億円、1ペソ=約2.2円)の支援をするものだ。支援を受けるには、a.6年間で1車種20万台(1車種1年間当たり3万3,000台以上)の生産を行う、b.部品製造のための新規投資または共用検査施設を設置する、c.重量ベースで50%以上を国産化する、などが要件となる。トヨタ・モーター・フィリピン(TMP)の2015年の販売実績は12万5,027台で前年比17.8%と好調だ。同社はフィリピン国内販売シェア39%を占め、首位に立つ。フィリピン国内で生産している主力モデルは「ヴィオス」と「イノーバ」で、2015年度の販売実績はヴィオスが3万3,173台、イノーバが1万7,011台だった。2モデルを合わせると、同社のフィリピンにおける販売台数の40%を占める。6月半ばにTMPは、CARS関連の初期投資として32億2,000万ペソを投じると発表していた。ヴィオスについては、車体部品、大型プラスチック部品などの生産の現地化を新たにすることで、2014年以降40%を超えた現地調達率を高め、2018年にフルモデルチェンジする計画だ。既に年間販売台数は3万台を超えていることもあり、TMPは、輸出をしなくても国内市場向けの販売だけで、CARSの要件をクリアできるとみている。

TMPの新車販売台数とフィリピンの1人当たりGDPの推移  
(単位:台,ドル)

	TMP全体	ヴィオス	イノーバ	フィリピンの 1人当たりGDP
2005年	35,513	8,358	12,595	1,209
2006年	38,258	9,406	10,767	1,405
2007年	45,091	8,717	10,544	1,684
2008年	45,915	12,020	10,000	1,919
2009年	46,193	11,990	10,328	1,851
2010年	56,855	15,391	12,608	2,155
2011年	54,593	14,979	11,805	2,364
2012年	65,396	16,517	13,369	2,591
2013年	75,587	20,493	14,376	2,770
2014年	106,110	25,837	15,566	2,844
2015年	125,027	33,173	17,011	2,858
2016年	150,000	35,000	22,000	2,978

(注)2016年の数値はTMP報道向け資料による目標値。  
1人当たりGDPはIMFデータベース2016年4月版。  
(出所)TMP資料およびIMF資料を基に作成

<車を購入できる所得階層が急成長>

1人当たりのGDPの拡大に伴い、フィリピンの消費の担い手の構造は徐々に変わりつつある。ヴィオスの販売台数は、2005年の8,358台が2015年には3万3,173台と4倍弱に拡大しており、特に2013年からの3年間は、連続で20%台を超える増加を記録した(表参照)。TMPが販売する車種の中で廉価なヴィオスの販売は急伸している。TMPの鈴木知社長は「最近のフィリピン市場の伸びは、所得が増加し車を購入できる層が拡大していることが大きな要因と思われる。いわゆる中間層に手の届くモデルの市場構成比が2005年の17%程度から2015年は35%と倍増していることと、当社の調査では、乗用車を購入した人の中で初めて新車を購入する人の比率が、2015年で73%と全体の約4分の3近くを占め、かつ2005年の36%程度からは倍増していることから、フィリピンでは新しい購買層が明らかに急増している」と述べている。

<現地調達率も向上>

TMPがフィリピンで生産・販売するモデルで、ヴィオスに次ぐ販売実績を持つイノーバは、2016年4月にフルモデルチェンジを発表した。当地メディアは、同社が39億ペソを投じ、イノーバ製造ラインを10%増強し、関連して従業員100人を追加雇用する、と報じた。ジェトロが2015年に実施した日系企業に対するアンケート調査によると、フィリピンの現地調達率は平均26.2%と低いものの、上記報道によると、イノーバにおける現地調達率は、今回のモデルチェンジをきっかけに50%にまで向上させており、今後もさらなる現地化を進める意向とみられている。

(出所:ジェトロ通商弘報2016年7月13日 110fc20663515782 「トヨタの「ヴィオス」がCARS補助金を取得(フィリピン)」)

**！！外貨両替は弊庫へ 米ドルは全店で、17通貨は本店で取扱中！！**

次のセミナー等をご案内させていただきました。

セミナー等名称	開催地	主催者
「農林水産物・食品輸出」商談スキルセミナー	名古屋	ジェトロ
ベトナム・カンボジア ビジネス法セミナー	名古屋	ジェトロ、名古屋大学
テキサス州(ヒューストン・ダラス)消費市場開拓セミナー	名古屋	ジェトロ
英国・フランス・ドイツ 食品輸出セミナー・個別相談会	名古屋	ジェトロ
台湾・日本企業連携セミナーin愛知	名古屋	資策会台日産業推進センター、台湾区電機電子工業同業公会



国際業務部

〒471-8601  
愛知県豊田市元城町1-48

電話 0565-36-1381

FAX 0565-36-1213

URL <http://www.toyoshin.co.jp>